

「骨寺通信」第46号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会
 岩手県一関市敵美町若神子241-2 骨寺村荘園交流館内



国道342号再開通

3月11日の東日本大震災による土砂崩れで全面封鎖となっていた、敵美町下真坂地内の国道342号が先月9日、約5カ月ぶりに再開通しました。国道342号は本寺地区や栗駒山と市街地を結び幹線道路であり、封鎖された間、行き来するには大幅な迂回を余儀なくされ、骨寺村荘園遺跡や須川高原温泉へ訪れる観光客も減少していました。特に震災直後は燃料不足の事態も重なり、本寺地区や以西の住民の通勤や買い物にも影響しました。また迂回路となった道路は道幅も狭くすれ違いも危険なことから、国道の早期再開通が求められていました。

同所が開通したことにより、国道を行き来する車の数も増え、また平泉の世界遺産登録の効果も相まって、骨寺村荘園遺跡を訪れるお客様も多くなりました。骨寺村荘園交流館「若神子亭」では、再開通となった9日には定休日を返上して産直部門を開店。多くのお客様にお越しいただきました。

これからは紅葉のシーズンを迎え、今までとはまた違った骨寺村荘園の光景をお楽しみいただけます。産直には秋の味覚も増えてきますよ。秋の行楽には、骨寺村荘園へお越しください。



震災時に土砂崩れが発生し、封鎖された国道342号（地震直後）。



崩れた土砂が取り除かれ、8月9日に再開通しました。

骨寺村荘園へのアクセスがスムーズになりました！



骨寺村荘園なう。



夏の暑さがまだまだ続く本寺ですが、時折心地よい秋の風が吹き、トンボが気持ちよく飛んでいます。荘園の田んぼの風景も深い緑から黄緑色に色づき、稲穂も次第にこっぺを垂れてきました。

本寺特産の日本カボチャ・南部一郎も、すくすくと育てだんだん形になってきました。このあと収穫を経て、追熟して糖度が増したら製品として店頭と並びようになります。



イベントのお知らせ

「骨寺村荘園で夕日を見る会」

中尊寺と深い関わりを持つ骨寺村では、春分の日と秋分の日、栗駒山の山頂に沈む夕日が見られます。昔ながらの荘園の空気を感じながら、西方浄土に思いをはせてみませんか？

9月23日（金・祝日） 15:00～
 （14:45 受付）

骨寺村荘園交流館「若神子亭」集合
 ・中尊寺 菅原光中住職による講話
 ・夕日観察 などを予定しています



「骨寺村荘園 稲刈り」体験交流会

日本の原風景が残る、中尊寺ゆかりの骨寺村荘園で昔ながらの稲刈りを体験してみませんか？

10月2日（日）
 骨寺村荘園交流館「若神子亭」集合
 参加費：2,000円

※骨寺村荘園オーナー様は無料です



詳しくは同封のチラシをご覧ください